

2016 年度冬学期 「都市防災概論」シラバス
火曜 6・7 限 (18:40-20:05)・7 限 (20:10-21:35))

准教授 加藤孝明 (生産技術研究所)

□講義の目的

中央防災会議にて都市計画と防災計画の連携の必要性が提言されるなど、防災における都市計画の役割が強調されている。これまで都市計画において防災は、重要課題として理解されているものの、計画の根拠となる法令や事業制度などが不十分であることもあって、一部の先進的事例を除けば、十分に考慮されてきたとは言えない。東日本大震災を経験し、さらには首都直下地震、南海トラフの巨大地震の切迫性が指摘される等、社会の雰囲気は変わった。従来の地震防災だけではなく、気候変動による水害リスクの増大への対応も喫緊の課題である。一方、人口減、低成長社会に突入し、これまでのような方法の限界が明らかになっている。本講義では、防災計画、防災まちづくりの基本素養を習得するとともに、防災行政、都市計画行政、まちづくりの現場において議論されている最新の論点を紹介し、受講者とともに議論する。

□講義項目 (※日程、講義題目、講師)

- ① 12 月 20 日：1995 年阪神淡路大震災を振り返る
- ② 12 月 20 日：東日本大震災以降の社会／東日本大震災の復興の特徴と課題
- ③ 1 月 10 日：日本の都市が抱える自然災害ハザードと都市に内在するリスクの構造
- ④ 1 月 10 日：これからの防災都市・地域・まちづくり
- ⑤ 1 月 17 日：日本の防災都市計画の構造 (地震火災と都市計画)／大規模水害と都市計画
- ⑥ 1 月 17 日：コミュニティベースの防災まちづくり／地区防災計画
- ⑦ 1 月 24 日：先進事例の紹介と計画策定現場での課題
- ⑧ 1 月 24 日：受講生との総合討論

□理解すべき事項

- ・ 都市の安全と都市づくりの歴史
- ・ 防災まちづくりをすすめるための社会の仕組み、必要とされるマインド、支援技術
- ・ 自然災害リスク軽減における都市計画の役割
- ・ 都市防災に関わる法制度の構造 (都市計画関連、防災関連)

□成績評価

- ・ 講義中の議論＋レポート課題